

神戸市における継続的なESTの取組み ～ H22年度における更なる発展～

神戸市交通局

神戸市の概況・交通網

- ◆行政区 9区
- ◆人口 約154万人
- ◆世帯数 約68万世帯
- ◆面積 約553km²
- ◆DID地区 人口：約140万人
面積：約147km²



平成22年度における取組

1 エコファミリー制度の夏休み拡充

大人1人につき小学生以下2人まで無料に！

- ◆適用日 土日休日、お盆休み、年末年始
- ◆対象 神戸市営地下鉄、北神急行電鉄、市バス全線、神戸交通振興山手線バス

期間中に約18万4千人（＝約6,800人/日）が利用
約67トンのCO2削減



お盆休み(8月12日～16日)から、夏休み期間(7月21日～8月31日)に拡充

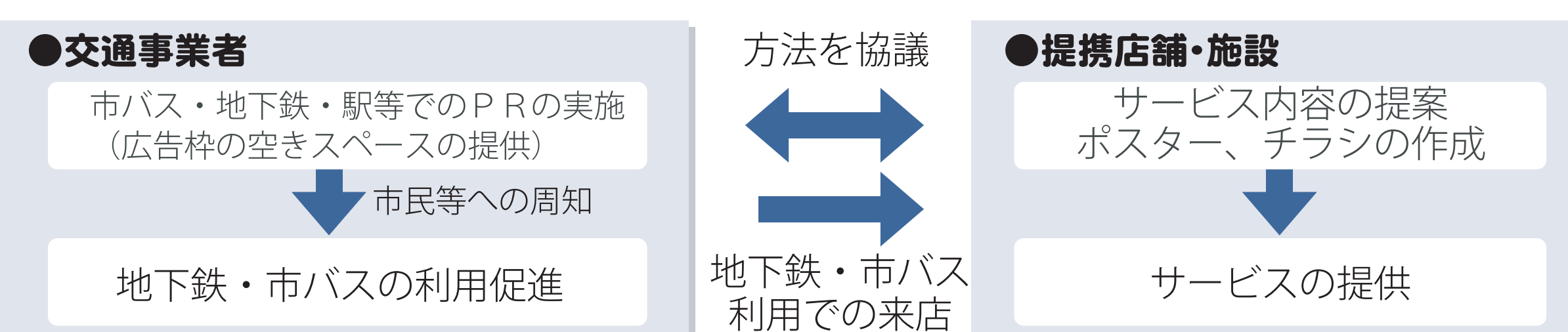
アンケート調査結果によると・・・

- ◆夏休み拡充によりマイカーから公共交通への転換が促進！
- ◆人々の外出のきっかけを提供

通算789万人が利用
約3000トンのCO2削減

2 新たなエコショッピング制度の導入

地下鉄・市バス利用者が対象店舗・施設等を利用する際にサービスを提供



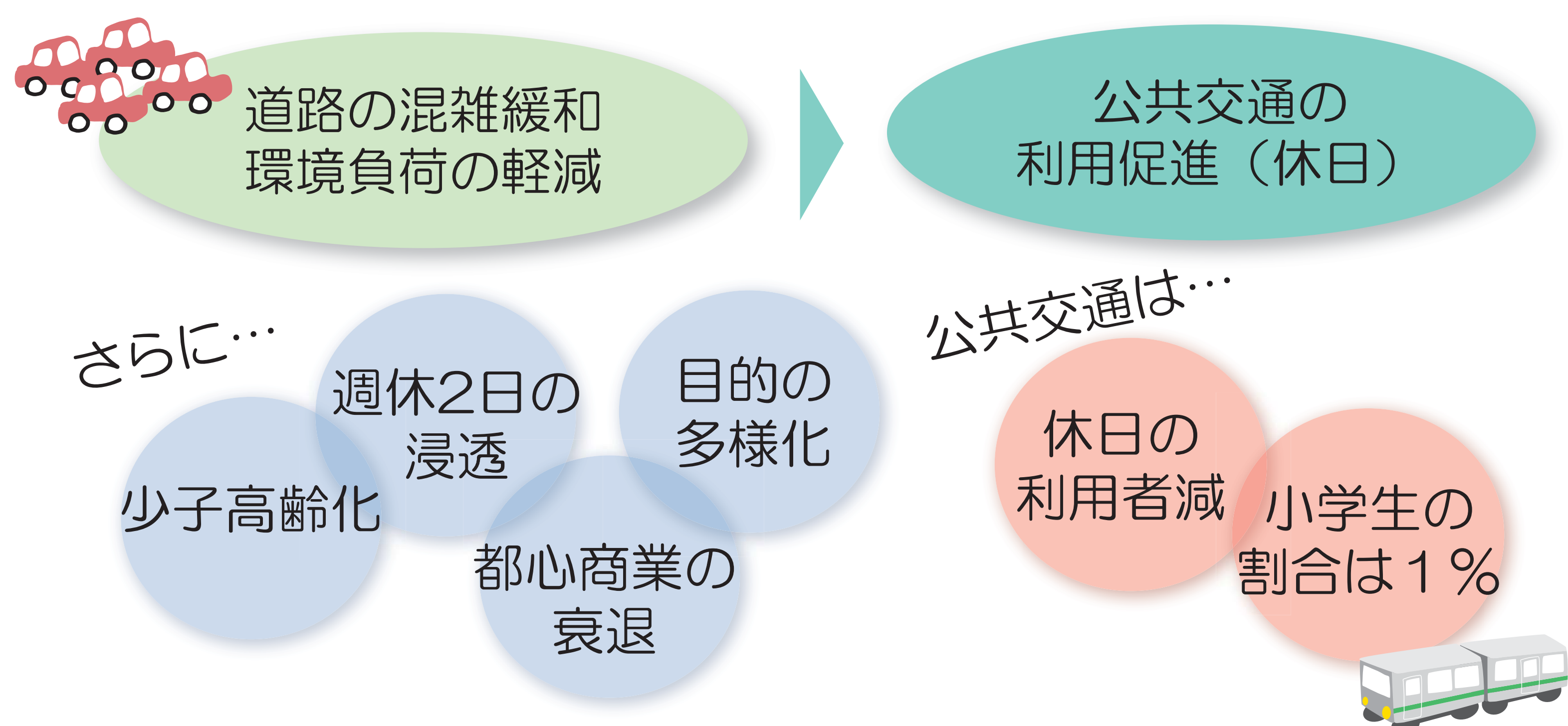
クルマの削減と
まちの活性化

カードリーダーで交通ICカードを読み取り、公共交通利用を確認



交通事業者と連携し、広域で交通ICカードを活用したエコショッピングを実験的に実施

ESTに対する取組の背景



神戸市におけるESTの経緯

交通需要マネジメント(TDM)の取組

- 2003 神戸市TDM研究会によるエコモーション神戸
- 2005 エコファミリー制度、エコショッピング制度等の本格実施
KOBESTの発行



EST実現に向けた取組

神戸都心地域

- 2005 神戸市EST推進協議会
- 2006 神戸EST省エネルギー詳細ビジョンの策定
- 2007 交通社会実験KOBEST2007等実施



神戸郊外地域

- 2007 神戸市MM推進委員会
職場MM・住民MM・学校MM
- TFP・バス運行実験
バスマップ作成・P&R
レンタサイクル
環境福祉体験授業等

ESTモデル事業

2010 EST交通環境大賞受賞

2010 JCOMMマネジメント賞受賞

- 2010 低炭素地域づくり面的対策推進事業の実施
- 2011 低炭素地域づくり計画の策定

3 市バス福祉体験授業

小学校の運動場等にノンステップバスを乗り入れ、市バス運転士が講師となり、バスの福祉に関する仕組みや、公共交通の環境に対する優しさ等について授業を実施

通算97校、
7546人が参加



- ◆地下鉄沿線の小学校で授業を実施
- ◆沿線イベントにてバス車内に小学生が描いた絵を展示

4 低炭素社会実現に向けた取組

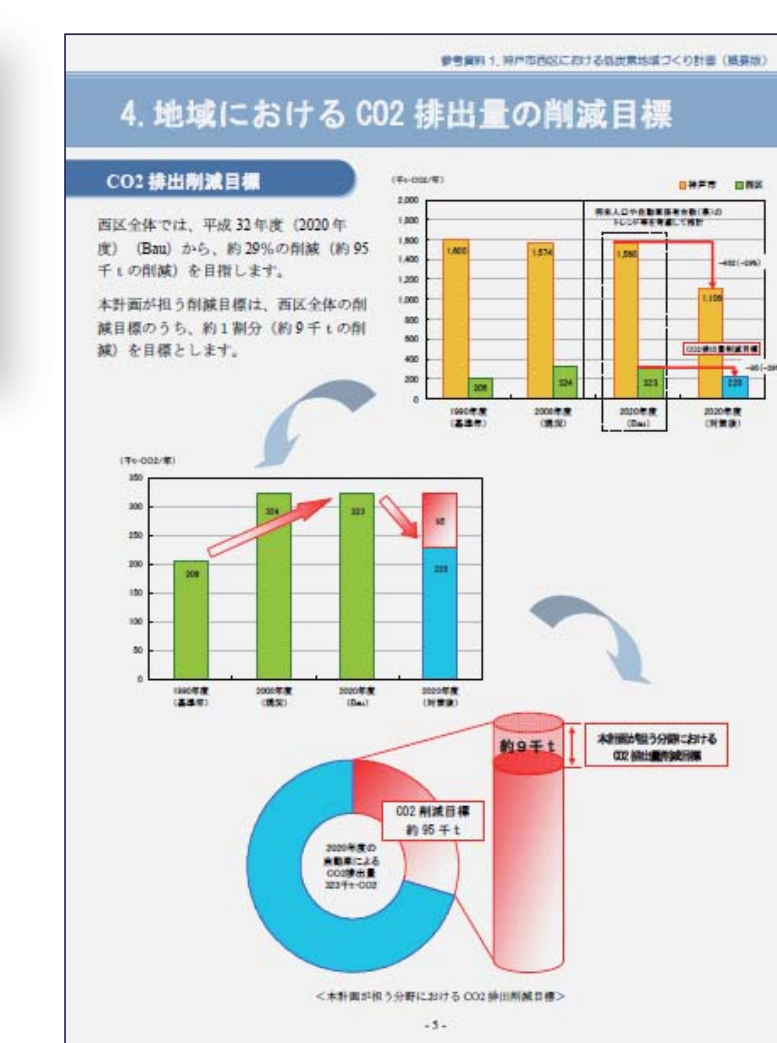
平成21年度に引き続き、マイカーからの転換に向けた交通社会実験を実施



▲ICカードを活用した
レンタサイクル事業



▲タイムレンタカー事業



▲低炭素地域づくり計画の策定

5 西神工業団地との継続的な連携

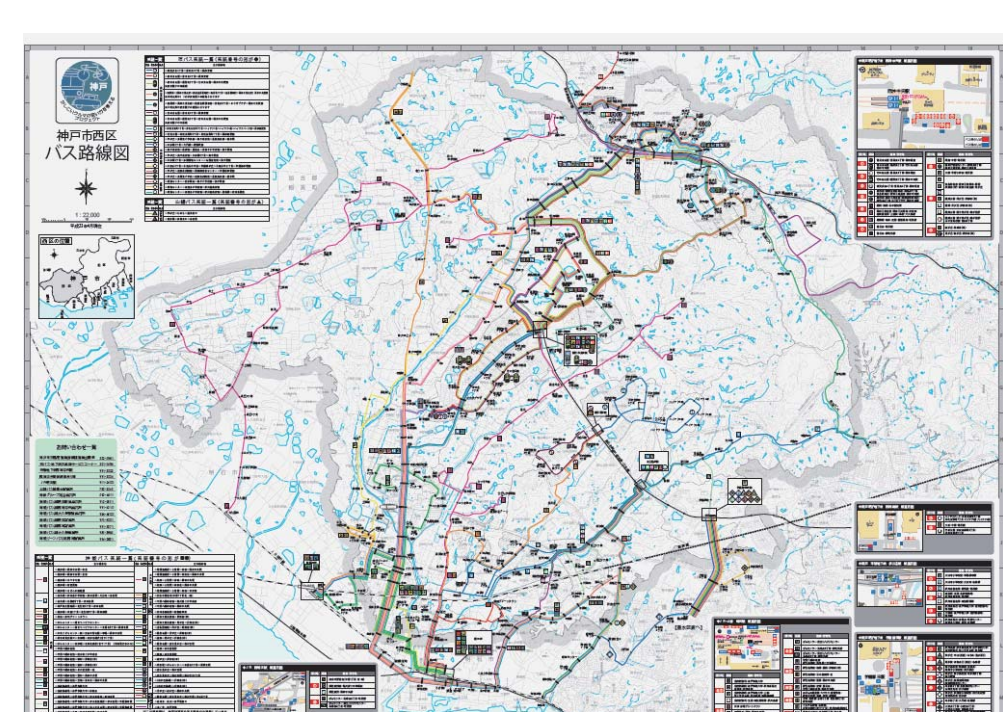
平成19年度からTFPを実施

- ◆ノーマイカーデーフリーチケットの積極的購入
- ◆レンタサイクル事業での通勤モニターとしての協力

3年連続でマイカー
通勤者が減少！

実施予定の取組

公共交通マップの充実化
→神戸市内全交通事業者と連携



えきばすびじょん。の拡大
→設置数の拡大



今後に向けて

